

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 31 わがみかみよ	讃美歌 344 とらえたまえ、わが身を
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 イザヤ書 45:15	黙 禱
コロサイの信徒への手紙 3:1~3	主の祈り 564
讃美歌 501 いのちのみことば	頌 栄 543 主イエスのめぐみよ
説 教 『命の根っこは隠されている』	祝 禱 後 奏

「まことにあなたは御自分を隠される神。イスラエルの神よ、あなたは救いを与えられる(イザヤ45:15)」。この預言、「そういうものか」とさして気にも留めなかったが、喉元の胡椒で咳込むように、唐突に「御自分を隠される」とはどういう事か、神はなぜ御自分を隠されるのか、が気になった。

人間の理性や感性には納まりきれない神、人間ごときが把握できるはずもない超越的な方、という意味か。それもそうだろう。とはいえ、人間に向けての預言なのだから、もっと「血の通った」意味があるんじゃないか。到底受け入れられない悲惨、飢餓や戦争の中で、神は「御自分を隠して」おられるのか。もっと身近なこと、私たちの挫折や不運、ややこしい人間関係や病などで苦しんでいる時も神は御自分を隠される。私たちを励ましてもくれず、慰めもなく、なぜ神は隠れておられるのか。

決意し受洗しても、あるいは信仰生活を長く続けていても、何かパツとしない。洗礼を受けても大して変化ないなあ、と思うことがあるか。あるいはまた、キリストが命を犠牲にしてまで「俺を愛してくれている」とは感じられない。そのうち「十字架かあ、ホンマかいな」、「神なんて人間の幻想じゃないか」と考え始めるか。このあたりが「信じる」と「分かる」の分岐点になるかもしれない。

分岐点と言っても実は曖昧。たとえば多くの人は素粒子や遺伝子のことなんて「分からない」が、自分が存在し今ここで生きていることはそうした自然の現象だと「信じている」。「信じる」とは、経験で獲得した理性・感性に「引きこもらない」で、人間を解き放つ未知への扉を押すことでもある。

自分の「分かる」に引きこもる者は、「俺を愛してくれている」手応えがないと、「もういいや」と神を遠ざける。だが、愛されているなんてとても思えない苦しみの中で「御自分を隠されている神」を「信じる」者は、生きている一瞬一瞬が輝き、一つひとつの出来事がかけがえがないものとなる。

「あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されている(コリ13:3)。いや、俺はまだ死んでないよ、と言うだろうか。「あなたがたは、キリストと共に復活させられたのだから~(3:1)」。いや、俺は復活なんかしてないよ、と言うだろうか。やがて訪れる死においても、復活においても、私たちはキリストと共にある。この生の内深くに、死も復活も隠されている。死は無ではない。この生がそうであるように死もまた赦され、十字架のキリストに結びついている。神から与った私の命は、キリストに捉えられ、愛され、十字架によって「神の内に隠されている(3:3)」。

神が「御自分を隠される」だけに留まらない。母の胎で創造された私が、ここで生きている私が、やがて死んでいく私が、そして復活する私が、キリストに見つけられ、尊ばれて、共に「神の内に隠されている」。こんな私が、それほどに「神そのもの」と分かちがたく、永遠に、結びついている。

M.ルターは言った。「あたかも正反対のもの下に隠されているほど、かくも深く隠されている~命は死の下に、救いは滅びの下に、義は罪の下に」。改めて預言を聞こう。「まことにあなたは御自分を隠される神~あなたは救いを与えられる(イザヤ45:15)」。義ではない、罪の下に救いが隠されている。

私たちの「命はキリストと共に神の内に隠されている(コリ13:3)」。遠い昔から、復活の永遠に至るまで、キリストと共にある。だが人間の時は今この瞬間。私たちの命は、今であってこそ使い尽せる。

葉を茂らせ 花を咲かせる 地上にある私だけが私ではない 地中深く張っている根っこまでが私 地上の私は忙しい キリストと共にある私の根っこを知らないから 他者の目に映った私で忙しい

6/19(水)1:00~3:00 教会カフェ。カフェの中で1:30~2:00 聖書のおはなし。6/24(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(YMCA)。牧師の動き:6/22(土)礼拝者9条の会、講演と総会(南甲府教会)。

礼拝堂・集会所の住所:408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ:408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。